



2021年7月28日  
三井住友DSアセットマネジメント  
チーフマーケットストラテジスト 市川 雅浩

## 市川レポート

## 2021年FOMCメンバーの金融政策スタンス（7月改訂版）

- 6月のFOMC後、一部メンバーからタカ派的な発言もあり、改めて金融政策スタンスについて考える。
- 常任メンバー1人と、メンバー4人のスタンスは、6月のFOMC後、タカ派方向にシフトしたとみられる。
- 5人のスタンス変更は織り込み済み、来年のメンバーの顔ぶれと利上げの有無も市場の関心事に。

## 6月のFOMC後、一部メンバーからタカ派的な発言もあり、改めて金融政策スタンスについて考える

3月12日付レポート「2021年FOMCメンバーの金融政策スタンス」では、今年の米連邦公開市場委員会（FOMC）で投票権を持つメンバーの金融政策スタンスを、ハト派（景気重視）、中立、タカ派（物価重視）の3つに区分しました。当時は、パウエル議長をはじめ多くのメンバーが、金融政策の正常化には慎重な姿勢を示していたため、メンバーのほとんどは、ハト派的なスタンスと推測されました（図表1）。

しかしながら、6月のFOMCで公表された、メンバーが適切と考える「政策金利水準の分布図（ドットチャート）」では、2023年に2回、0.25%の利上げが示唆され、また、その後も一部メンバーからタカ派的な発言がみられました。そこで今回のレポートでは、これらの経緯を踏まえ、改めて2021年のFOMCで投票権を持つメンバーの金融政策スタンスについて考えます。

【図表1：FOMCメンバーのスタンス（3月時点）】

区分	メンバー	役職	ハト派	中立	タカ派
常任メンバー	パウエル	議長			
	クラリダ	副議長			
	クオールズ	理事（金融規制担当副議長）			
	ブレイナー	理事			
	ボウマン	理事			
	ウォラー	理事			
	空席	理事			
	ウィリアムズ	ニューヨーク地区連銀総裁			
メンバー	エバンス	シカゴ地区連銀総裁			
	バーキン	リッチモンド地区連銀総裁			
	ホスティック	アトランタ地区連銀総裁			
	デイリー	サンフランシスコ地区連銀総裁			

(注) 2021年のFOMCで投票権を持つメンバー。  
(出所) 各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【図表2：FOMCメンバーのスタンス（7月時点）】

区分	メンバー	役職	ハト派	中立	タカ派
常任メンバー	パウエル	議長			
	クラリダ	副議長			
	クオールズ	理事（金融規制担当副議長）			
	ブレイナー	理事			
	ボウマン	理事			
	ウォラー	理事			
	空席	理事			
	ウィリアムズ	ニューヨーク地区連銀総裁			
メンバー	エバンス	シカゴ地区連銀総裁			
	バーキン	リッチモンド地区連銀総裁			
	ホスティック	アトランタ地区連銀総裁			
	デイリー	サンフランシスコ地区連銀総裁			

(注) 2021年のFOMCで投票権を持つメンバー。  
(出所) 各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成



## 常任メンバー1人と、メンバー4人のスタンスは、6月のFOMC後、タカ派方向にシフトしたとみられる

まず、毎年投票権を持つ常任メンバーでは、パウエル議長をはじめ、ほとんどのメンバーがスタンスを変えていないと思われます（図表2）。ただ、ウォラー理事は最近、量的緩和の縮小（テーパリング）について早期実施の可能性を示唆しており、ハト派から中立にスタンスが変化したとみられます。なお、クオールズ理事兼金融規制担当副議長の任期は10月13日となっており、退任の場合は、後任のスタンスが注目されます。

次に、2021年に投票権を持つメンバーでは、リッチモンド地区連銀のバーキン総裁と、アトランタ地区連銀のボスティック総裁が、2022年の利上げの可能性を示唆しており、中立からタカ派にスタンスを変えたと推測されます。また、シカゴ地区連銀のエバンス総裁と、サンフランシスコ地区連銀のデイリー総裁は、年内のテーパリング開始の可能性に言及しており、ハト派から中立にスタンスを移行したと思われます。

## 5人のスタンス変更は織り込み済み、来年のメンバーの顔ぶれと利上げの有無も市場の関心事に

つまり、2021年に投票権を持つメンバー11人のうち、5人のスタンスが、6月のFOMC以降、タカ派方向にシフトしたとみられます。ただ、2021年は、テーパリングの開始時期が市場の焦点となっており、現時点では、来年早々の開始を見込む向きが多いように思われます。そのため、5人がスタンスを変えたこと自体、市場はすでに織り込み済みと考えられます。

また、2022年の利上げの有無も市場の関心事ですが、2022年のFOMCで投票権を持つ地区連銀（グリーンブランド、ボストン、セントルイス、カンザスシティ）の総裁4人は、タカ派のスタンスと推測されます。ただ、政策決定に関しては、常任メンバーの発言がより重要であり、2022年は1月31日にクラリダ副議長、2月8日にパウエル議長が、それぞれ任期を迎えるため、再任されなかった場合の後任人事も要注目です。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものであり、投資勧誘を目的として作成されたもの又は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料の内容に関する一切の権利は当社にあります。本資料を投資の目的に使用したり、承認なく複製又は第三者への開示等を行うことを厳に禁じます。■当資料の内容は、当社が行う投資信託および投資顧問契約における運用指図、投資判断とは異なることがありますので、ご了解下さい。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会